



在東京品川車站辦理「臺灣一直線」宣廣活動，由電音三太子揭開序幕



列車進站時，日本民眾紛紛拿起相機(手機)拍照



彩繪車廂色彩鮮豔吸睛，連路過的上班族也忍不住闖入封鎖線搶先拍照



車廂內貼有臺灣觀光海報，宣傳「旅行臺灣就是現在」



由駐日經濟文化代表處羅副代表及本局張副局長引領媒體進入車廂參觀



一日站長活動造勢成功宣傳「臺灣一直線」來臺的便捷交通

特集
台湾

台湾から過去最大規模の観光誘致団が来日

友好アピール、訪台を促進



日台観光のFBページ開設

日台観光のFacebookページが開設された。このページは、日台観光の最新情報やイベントの告知、観光客の交流の場として活用される。また、台湾観光局と日本観光協会の共同プロジェクトとして、観光客の利便性を高めるための取り組みが行われている。



台湾観光局と日本観光協会が共同で「日台観光のFacebookページ」を開設した。このページは、日台観光の最新情報やイベントの告知、観光客の交流の場として活用される。また、台湾観光局と日本観光協会の共同プロジェクトとして、観光客の利便性を高めるための取り組みが行われている。

相互交流 300万人達



台湾観光局と日本観光協会が共同で「日台観光のFacebookページ」を開設した。このページは、日台観光の最新情報やイベントの告知、観光客の交流の場として活用される。また、台湾観光局と日本観光協会の共同プロジェクトとして、観光客の利便性を高めるための取り組みが行われている。

「思い立ったが吉日」
グルメな
台湾観光の魅力を伝えるための取り組みが行われている。台湾観光局と日本観光協会が共同で「日台観光のFacebookページ」を開設した。このページは、日台観光の最新情報やイベントの告知、観光客の交流の場として活用される。

成へ



台湾観光局と日本観光協会が共同で「日台観光のFacebookページ」を開設した。このページは、日台観光の最新情報やイベントの告知、観光客の交流の場として活用される。また、台湾観光局と日本観光協会の共同プロジェクトとして、観光客の利便性を高めるための取り組みが行われている。

「思い立ったが吉日」
グルメな
台湾観光の魅力を伝えるための取り組みが行われている。台湾観光局と日本観光協会が共同で「日台観光のFacebookページ」を開設した。このページは、日台観光の最新情報やイベントの告知、観光客の交流の場として活用される。

台湾10大観光地

台湾観光局が発表した「台湾10大観光地」のリストは、台湾の魅力を伝えるための重要な情報源となる。このリストには、台湾の歴史、文化、自然、観光資源が紹介されている。観光客は、このリストを参考に、台湾の観光地をめぐることができる。

台湾観光協会が受賞

台湾観光協会が「台湾観光協会賞」を受賞した。この賞は、台湾観光協会の活動に対する評価を示すものである。台湾観光協会は、台湾観光の発展に貢献している。台湾観光局と日本観光協会が共同で「日台観光のFacebookページ」を開設した。このページは、日台観光の最新情報やイベントの告知、観光客の交流の場として活用される。

台湾まで一線 列車広告でPR

台湾まで一線、列車広告でPR。台湾観光局と日本観光協会が共同で「日台観光のFacebookページ」を開設した。このページは、日台観光の最新情報やイベントの告知、観光客の交流の場として活用される。また、台湾観光局と日本観光協会の共同プロジェクトとして、観光客の利便性を高めるための取り組みが行われている。



Time for Taiwan

旅行臺灣 就是現在

台湾観光局 <http://jp.taiwan.net.tw>

台湾観光協会 <http://www.go-taiwan.net>

台湾観光促進年



Visit World Campaign

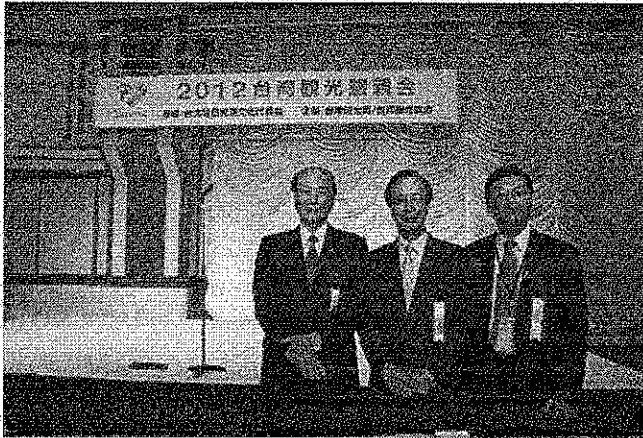
Japan's Gateway to the World

All by Taiwan Tourism Bureau

▶ 東京で台湾観光セミナーが盛大に開催

発信日時：2012/9/21

東京で台湾観光セミナーが盛大に開催



写真右から張錫聰・交通部観光局副局長、羅坤燦・駐日代表処副代表、
張家祝・台湾観光協会会長

日本の観光業界関係者に台湾観光の最新情報を提供すると共に、台日旅行業界の双方向の交流を図るため、9月20日、東京都内のホテルで、日本の観光業界関係者を招き、台湾観光商談会、セミナーおよび懇親会が開催された。台湾側からは、交通部観光局など台湾の政府関連機関、黄健庭・台東県長（知事）ら地方自治体の関係者、台湾観光協会など旅行、観光、ホテル業界の関係者が出席した。

台湾の出席者一行は、9月22日と23日の両日に東京ビックサイトで開催される「JATA 国際観光フォーラム・旅博2012」への出展参加も来日の主要目的の1つとなっている。また、20日のこの活動の前に、すでに9月18日に名古屋で東京と同様の商談会、セミナー、懇親会を開催している。

20日の台湾観光セミナーでは、張錫聰・交通部観光局副局長が「今回の訪問団は約180名という過去最大規模の参加者数である。これは、我々が日本市場をいかに大切にしているかの表れであるのみならず、長年にわたって築き上げてきた、台日観光の友好関係を一番の宝物としているからである。台湾は現在、官民挙げて観光に力を入れており、安全で安心な旅行先のベストチョイスである」とアピールした。

日本側からは、観光庁の志村格・次長が中国語であいさつし、「日台間は昨年震災があったにもかかわらず、双方間の往来者数はきわめて増加している。今年の相互往来者数300万人の目標を達成するために、さらに官民一体となり、観光分野にとどまらず、芸術、文化、スポーツなどあらゆる分野での交流を深めていくようにしていきたい。そのために、日台は重要なパートナ

ーであることを認識していきたい」と述べた。

セミナーでは、台湾の観光事情、マーケティングの分析のほか、旅行企画に関連し、エージェンツのサポート補助についての紹介や台湾の5大国際スポットプロジェクト、10大観光スポット、交通手段の各種サービス、日本語通訳育成といった台湾観光の強化、台日共同セールスについて説明が行われた。

続いて行われた懇親会では、台湾観光協会の張家祝・会長のあいさつの後、台北駐日経済文化代表処の羅坤燦・副代表が「昨年11月に台日航空協定が締結され、今年になり新たな航空路線も開通し、双方の人々の往来はますます盛んになってきている。今年1月～8月の双方の往来者数はすでに200万人近くになり順調に推移している。朝早くから夜おそくまで、安心して観光を楽しむことのできる台湾を、旅の専門家である皆様が日本の多くの方々にお伝えいただければ幸いです」とアピールした。



Travel Vision 網路報導

現在のメールニュース登録者数 49400 名様

メールニュースの会員登録はこちら

文字サイズ

小 中 大

トップ ニュース 特集 フォトニュース インタビュー デスティネーション イベント

トップ > ニュース > 台湾、12年の日本人客数135万人めざす—シニアや女性ターゲットに

台湾、12年の日本人客数135万人めざす—シニアや女性ターゲットに

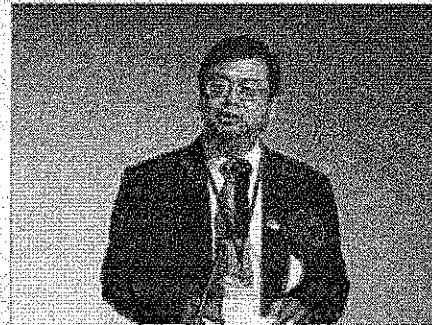
2012年9月24日(月)

ツイート 5

読 4

友だちにおすすめ

台湾観光局と台湾観光協会は9月20日、約180名の観光関係業者が来日してのワークショップと、観光セミナーを開催した。台湾観光局副所長の張錫聰氏は「今回の来日人数は過去最大規模。この規模にも、台湾がいかに日本市場を重視しているかが表れている。日台の友好関係は宝物」と述べ、定期路線の座席数増加や新規路線の開設、SNSなどを通じた交流振興への意欲を示した。2012年は訪台旅客数全体で660万人、日本人訪問者数135万人を目標とした。



台湾観光局副所長の張錫聰氏

台湾観光局東京事務所の江明清氏によると、2012年1月から8月の日本人訪問者数は約80万人。訪日台湾人も約140万人に到達しており、「この調子で日台相互訪問数300万人が達成できるのでは」という。



台湾観光局東京事務所の江明清氏

ターゲットは60歳以上のシルバー層と、シェアの約4割を占める20代から30代の女性。文化、ロマン、グルメ、ショッピング、ロハス、エコ生態という6テーマを軸とし、縁結びツアーや美食をテーマにしたツアー、イメージキャラクターへのアイドル起用などを通じたアピールを展開する。旅行会社に対しては、広告経費補助やチャーター便運航、インセンティブツアー奨励といったサポートを用意。現地では各ターミナルから観光地までのシャトルバスを運行するほか、これまで課題とされていた日本語ガイドの人材育成にも力を入れる。

また、江氏は尖閣諸島問題に関して「日本と台湾はもともと親戚のような付き合い。ツアー催行はまったく問題ない」とコメント。中華民国旅館旅行業国際行協理事会長で佳都大飯店セールス・ディレクターの蘇乾亮氏も「日本人客は最も歓迎されている。当ホテルでは日本から300人規模の修学旅行生が多く、2013年は今年を上回る予約がある。政治的状況の影響によるキャンセルは今のところない」と安全性をアピールした。

Taiwan

THE HEART OF ASIA

Time for Taiwan

もっと! 海外へ

台湾観光協会 東京大阪事務所

Home

台湾情報

メンバー情報

観光資料請求

サロンレポート

お問い合わせ先

■京急線で「台湾まで一直線」イベント列車(トレインジャック) 運行9/17~10/18(出発セレモニー9/21京急品川駅で開催)

台湾観光局では、秋から冬にむけた台湾観光促進活動の一環として2011年9月17日(月)から10月18日(木)までの1カ月間、羽田空港~成田空港間を結ぶ京急電鉄(600形 8両1編成)を全て活用して「東京(羽田)⇄台北(松山)、東京(成田)⇄桃園・高雄 “台湾まで一直線”と、題した台湾観光イベント列車を運行します。台湾観光代表団が京急線品川駅に集結してイベント列車の出発セレモニーを9月21日(金)に開催することが確定しましたので、お時間のある方は京急線品川駅のセレモニー特設会場にお越しください。(特設会場は駅構内となりますので、入場、乗車券を所有している方が参観可能となります)



クイズに答えて台湾へ行こう!

東京(羽田)→台北(松山)、東京(成田)→桃園・高雄 台湾まで一直線!

大船も大船で楽しむ台湾のダンス! 台湾のダンス! 台湾のダンス!

東京(羽田・成田)から成田空港が直結している台湾の観光列車は、**〇つです。**
 〇つです。台湾の観光列車は、**〇つです。**
 〇つです。台湾の観光列車は、**〇つです。**

開催期間: 9月17日(月)~10月18日(木)

〇クイズの答えは台湾観光局のウェブサイトで見られます。
 〇クイズの答えは台湾観光局のウェブサイトで見られます。
 〇クイズの答えは台湾観光局のウェブサイトで見られます。

台湾観光協会 東京事務所 TEL: 03-3501-3591

「台湾まで一直線」出発セレモニー

主催: 台湾観光局 指導: 台北駐日経済文化代表處
 共催: チャイナエアライン、エバー航空 協力: 京急電鉄 京成電鉄

【開催日時】2012年9月21日 金曜日 12:10~

【場所】京急線「品川駅」2、3番線ホーム特設会場 ※セレモニーは、駅構内ホームでの開催となります

プログラム 12:10~ 台湾観光舞踊パフォーマンス(電音三太子ダンス、先住民族舞踊)、台湾観光イベント列車入線 駅長任命式、台湾観光イベント列車内覧、イベント列車 出発式 13:20~台湾観光舞踊パフォーマンス(電音三太子ダンス、先住民族舞踊)

台湾観光局では「羽田空港」及び「成田空港」へ向かう首都圏からの主要アクセスである「京急線」をアピールすることで、都心から台湾まで「一直線」で結ばれているという利便性と、台湾観光局が掲げるTime for TaiwanのPRスローガンをメインテーマに掲げて、多種多様なデジタルやメッセージ、台湾観光クイズなどを掲示して、多彩な台湾観光の魅力をも世内に向けて発信します。イベント列車の車内では、グルメ、ロハス、ショッピング、浪漫などのカテゴリーに分類した台湾のイメージ広告やこだわりの台湾観光十大スポットの紹介をはじめ、台湾旅行や協賛航空会社のレアなグッズなどが当たる「プレゼントキャンペーン」ほか、羽田空港そして成田空港から好きな時間に飛び立てることができるチャイナエアライン、エバー航空のプロモーション広告、台湾旅行を応援する旅行会社各社など広く紹介し、まるごと台湾を体感できるコンセプトで台湾へと繋がる「羽田空港-首都圏-成田空港」間を往復しながら、利用者に向けてすぐに旅立てる台湾をPRしていきます。

上記に関する問い合わせ: 台湾観光協会東京事務所 03-3501-3591

京急電鉄600形車両紹介サイト(京急電鉄): http://www.keikyuu.co.jp/about/train/train_600.html



羽田、成田空港に便利な京浜急行電鉄とタイアップした台湾の観光イベント=21日、京急品川駅

京浜急行電鉄は、横浜方面と成田空港駅間の所要時間を短縮する。10月21日のダイヤ改正では京成電鉄と連携し、利便性を高めることで海外や全国各地から訪れる観光客らを受け入れる。成田空港と羽田空港間も所要時間を短縮。横浜方面や品川・都心方面と羽田空港間の「エアポート急行」や「快特」の運転本数を倍増する。

成田空港では国内線LCC(格安航空会社)が就航しており、航空運賃の安さからさらなる利用増が見込まれている。成田空港から横浜駅まで京成電鉄と京急電鉄を乗り継ぐ場合は、従来115分のところダイヤ改正後は最速100分となり、最大15分の短縮となる。

JR東日本の特急「成田エクスプレス」は成田空港-横浜間を約90分で結ぶが、特急料金を含めて3980円。京急電鉄は運賃が1630円で済むことをアピールしており、広報担当者は「料金に敏感なLCC利用者にとって、京急電鉄が選択肢になる」と話す。

一方、羽田空港は2013年度内に年間発着枠が44万7千回に拡大。同年春からは交通系ICカードの全国相互利用サービスが始まる。成田空港と羽田空港間の乗客の利用増が見込まれるとして、京急蒲田駅を通過するなど停車駅を減らして所要時間を最大15分短縮する。

併せて、10月のダイヤ改正で横浜方面と羽田空港間の「エアポート急行」の運転本数を倍増。品川・都心方面と羽田空港間の「快特」も倍増する。いずれも10分間隔の運転になる。

京急電鉄は、アジアなど海外や全国各地からの観光客が都心や横浜方面に向かう際や、沿線住民らが両空港に向かう際の利用を促していく考えた。21日には、京急線品川駅構内で台湾観光をPRするイベントを開催。羽田空港は台北・松山空港と、成田空港は桃園空港、高雄空港と、いずれも一直線で結ばれていることをアピールしていた。

京急電鉄ダイヤ改正：観光客狙い、空港へ所要時間短縮 10月21日から／神奈川

2012年9月22日(土)6時30分配信 神奈川新聞

かながわ

チェック いいね! ツイート 0 0

京浜急行電鉄は、横浜方面と成田空港駅間の所要時間を短縮する。10月21日のダイヤ改正では京成電鉄と連携し、利便性を高めることで海外や全国各地から訪れる観光客らを受け入れる。成田空港と羽田空港間も所要時間を短縮。横浜方面や品川・都心方面と羽田空港間の「エアポート急行」や「快特」の運転本数を倍増する。

成田空港では国内線LCC(格安航空会社)が就航しており、航空運賃の安さからさらなる利用増が見込まれている。成田空港から横浜駅まで京成電鉄と京急電鉄を乗り継ぐ場合は、従来115分のところダイヤ改正後は最速100分となり、最大15分の短縮となる。

JR東日本の特急「成田エクスプレス」は成田空港－横浜間を約90分で結ぶが、特急料金を含めて9980円。京急電鉄は運賃が1630円で済むことをアピールしており、広報担当者は「料金に敏感なLCC利用者にとって、京急電鉄が選択肢になる」と話す。

一方、羽田空港は2013年度内に年間発着枠が44万7千回に拡大。同年春からは交通系ICカードの全国相互利用サービスが始まる。成田空港と羽田空港間の乗客の利用増が見込まれるとして、京急蒲田駅を通過するなど停車駅を減らして所要時間を最大15分短縮する。

併せて、10月のダイヤ改正で横浜方面と羽田空港間の「エアポート急行」の運転本数を倍増。品川・都心方面と羽田空港間の「快特」も倍増する。いずれも10分間隔の運転になる。

京急電鉄は、アジアなど海外や全国各地からの観光客が都心や横浜方面に向かう際や、沿線住民らが両空港に向かう際の利用を促していく考えた。21日には、京急線品川駅構内で台湾観光をPRするイベントを開催。羽田空港は台北・松山空港と、成田空港は桃園空港、高雄空港と、いずれも一直線で結ばれていることをアピールしていた。



羽田、成田空港に便利な京浜急行電鉄とタイアップした台湾の観光イベント＝21日、京急品川駅「拡大」

羽田～成田「台湾まで一直線」列車で台湾観光PR

2012/09/22 16:15:13



(東京 22日 中央社)京急線品川駅で21日、台湾観光をPRするためのイベント列車「台湾まで一直線」の出発式が行われた。中華民国(台湾)交通部観光局の主催によるもので、共催はチャイナエアライン、エバー航空。京急電鉄の「台湾まで一直線」列車は9月17日～10月18日までの1カ月間、羽田～成田間を走る。

羽田空港は台北松山空港と、成田空港は桃園空港・高雄空港と直行便で

結ばれており、首都圏から羽田と成田へ向かう京急線・京成線をアピールすることで、都心から台湾まで「一直線」で結ばれているという利便性と台湾観光の魅力を伝えようというもの。

イベント列車内では台湾のイメージ広告や観光スポットの紹介をはじめ、プレゼントキャンペーン、旅行会社各社など広く紹介、台湾へとつながる「羽田空港～首都圏～成田空港」間を往復しながらすぐに旅立てる台湾をPRする。

列車出発式の挨拶で張錫聰・観光局副局長は、日本の関係各社と連携して台湾観光をアピールすることができることを喜んでいると述べ、台日観光客数のべ300万人の目標を達成できるよう、今年は140万人の日本人観光客を台湾に誘致したいと抱負を語った。観光局では今回、180人近くの代表団を率いて東京の「JATA旅博2012」(9月20日～23日)にも出展中。

式では台湾のお祭りに登場する道教の少年神を模したコミカルないでたちが特色の「電音三太子」や原住民族による舞踊団のパフォーマンスも行われ、多くの人々の注目を集めた。

台灣一直線觀光列車 日本攬客

2012-09-22 01:38 | 中國時報 | 【黃菁菁／東京廿一日電】



▲觀光局與華航、長榮航空及日本京急電鐵合作，從9月17日到10月18日，舉辦「台灣一直線」活動，21日在品川車站請來電音三太子、原住民舞蹈團助陣，讓日本民眾感染到喜慶氣氛。（黃菁菁攝）

交通部觀光局為推廣觀光，與台灣中華、長榮兩家航空公司及日本京急電鐵公司合作，從九月十七日起到十月十八日止，舉辦「台灣一直線」觀光列車活動，廿一日在東京品川車站舉行一日站長任命典禮，還請來電音三太子、原住民舞蹈團助陣，讓圍觀日本民眾都感染到台灣熱鬧的喜慶氣氛。

「台灣一直線」觀光列車行駛於東京羽田及成田兩大國際機場之間，象徵著要帶領日本民眾遊台灣。觀光局副局長張錫聰致詞表示，這次率領近將一百八十名台灣觀光代表團到日本參加東京旅展，同時將每天載客達二百四十三萬人的「京急電鐵」及「京成電鐵」機場列車，包裝成限定一個月的台灣觀光彩繪列車。

中文新聞 | Focus Taiwan | Español |フォーカス台湾 | 影音 | 行動裝置 | 商情 | 全球展望 | 台商 | 全球中



財團法人中央通訊社

中央社新聞網

熱門關鍵字：iPhone 5 杰拉華 釣魚台

最近六個月的中央社新聞搜尋

- 新聞總覽
- 重點新聞
- 國內政治
- 財經新聞
- 國際焦點
- 兩岸透視
- 教育文化
- 資訊科技
- 生活醫藥
- 影劇新聞
- 運動休閒

首頁 > 國際焦點 >

台灣一直線觀光活動 東京登場

加入中央社粉絲團 閱讀 2.5萬 | 列印本頁 轉寄

1942:17

（中央社記者楊明珠東京21日專電）中華民國交通部觀光局今天在東京品川車站舉辦與台灣的航空公司及日本京急電鐵公司合作的「台灣一直線」活動，並安排1日站長任命典禮，象徵啟動觀光列車帶領日本民眾遊台。

觀光局與中華、長榮兩家航空公司及日本京急電鐵公司合作，從9月17日起到10月18日為止，辦理「台灣一直線」觀光列車活動。這列車行駛於東京羽田及成田兩大國際機場沿線。今天在東京的品川車站月台舉行宣傳活動。

觀光局副局長張錫聰致詞時表示，這次率領近180人台灣觀光代表團到日本參加東京旅展，很高興有機會與連結羽田及成田機場的「京急電鐵」及「京成電鐵」合作，利用包裝1個月台灣觀光彩繪列車及辦理1日站長活動，行銷台灣。

張錫聰與中華民國駐日副代表羅坤燦、台灣觀光協會會長張家祝、觀光局東京事務所所長江明清、華航東京支社長鍾明志、長榮東京支社長王振興被任命為不同站的「一日站長」。

針對釣魚台主權紛爭，大陸與日本關係交惡，有很多觀光客轉到台灣旅遊的問題，張錫聰表示，旅遊是很和平的，歡迎世界各地人士訪台。希望今年能吸引140萬名日本民眾訪台，達到台日互訪300萬人次目標。

東京品川車站站長鈴木還對這6位台灣來的「一日站長」示範如何揮旗，指揮列車啓動。會場上還請來電音三太子、原住民舞蹈團，充滿濃濃的台灣味。(本文附照片及影音)
1010921

